

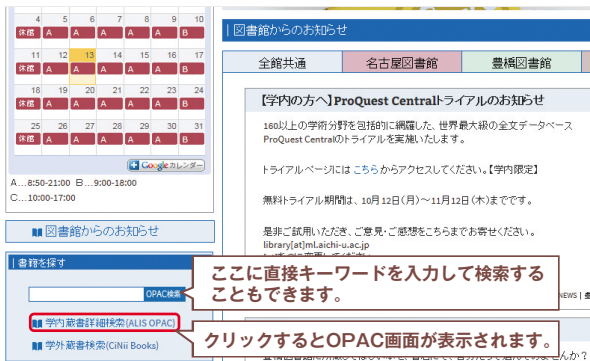


【特集】課題を紐解くヒントがここにある 卒論・レポートは “図書館にコミットする”

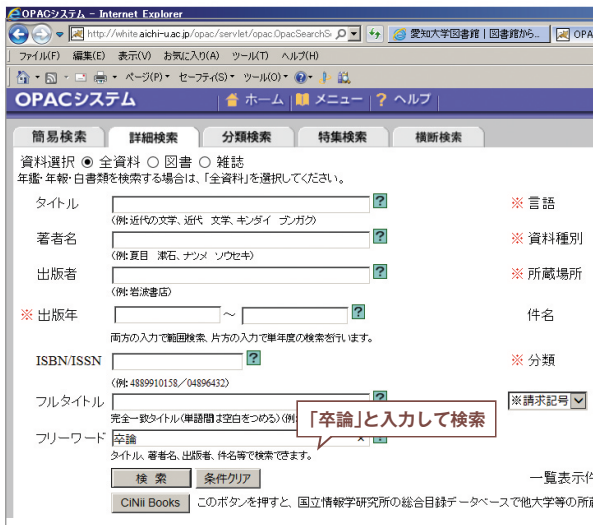
図書館には、卒論やレポート作成に役立つ資料が多数所蔵されています。さらに言えば、図書館の資料を活用しなければ、卒論やレポートを仕上げることは難しいことがほとんどです。愛知大学図書館には、愛知大学の学部に関係した資料はもちろんのこと、各種統計データや過去の新聞記事、判例、さらには卒論の「書き方」に関する資料なども所蔵されています。今回は、卒論・レポート作成のための図書館活用法をご紹介します。

1. 卒論やレポートの書き方を調べる

「課題が出たけれども、何から手を付けてよいのか分からない」といった場合は、どのように卒論やレポートを書きすめればよいのか、レポートの書き方に関する資料を調べてみましょう。資料を探す時に利用するのが蔵書検索システム「OPAC」です。図書館内にOPAC専用端末がありますが、自宅のパソコンやスマートフォンからでも利用可能です。OPACへは図書館ホームページからアクセスしてください。



OPACが表示されたら、フリーワードに「卒論」、「レポート」といったキーワードを入力して検索してみてください。



例えば、このような資料がヒットします。

論文の教室：レポートから卒論まで / 戸田山和久著 NHK出版、2012.8
資料番号:1221026821
請求記号:816.5:To17



この資料には論文のアウトラインの作り方、分かりやすい文章の書き方、論証のテクニック、引用の方法などの説明が掲載されています。何から始めたらよいか分からないという方や、書き方に困った方は、こういった資料を調べてみてください。

2. 過去の卒論を見たい

過去の卒論を見たい場合は、学会賞を受賞した卒論が参考になると思います。学会賞は、卒業論文が優秀な学生に与えられ、良い見本になります。名古屋校舎は共同学生会室(厚生棟3階)に、豊橋校舎では人文社会科学研究所事務室(2号館)に行けば閲覧することができます。

3. 参考資料を探したい

テーマやレポートのアウトラインが決まったら、レポートの根拠となる参考資料や各種のデータが必要になります。続いて、参考資料やデータの探し方をご紹介します。

①学内に参考資料があるか調べてみましょう。

先述と同様の手順でOPACを利用し、学内の資料を検索してみます。フリーワード欄に求める情報のキーワードを入力し、検索してみてください。特定の資料がある場合は、タイトル欄に入力して検索もできます。検索した結果、学内にその資料があればよいのですが、見つからない場合もあります。そんな時も諦める必要はありません。図書館のスタッフが、その資料を入手できるようお手伝いします(これを「レファレンス」といいます)。その資料を所蔵している他大学の図書館に依頼して資料を借りたり、コピーを取り寄せる制度を利用することができます。目的の資料が見つからない場合は、図書館カウンターにご相談ください。

②データベースを検索してみましょう。

愛知大学図書館は様々なデータベースを契約しており、国内外の論文、新聞、雑誌、判例などをキーワードで検索することができます。

一例として、論文の検索方法をご紹介します。ここで役に立つのが「CiNii Articles」というデータベースです。日本の学術論文を中心とした論文情報を検索できるシステムです。膨大な論文情報の中から簡単に目的の論文をさがすことができ、中には本文を閲覧できるものもあります。

〈「CiNii Articles」の利用方法〉

図書館ホームページにアクセスし、左下の「データベース」をクリックします。「雑誌記事・論文」タブを選択し、「CiNii Articles」をクリックします。



愛知大学図書館ホームページ(<http://library.aichi-u.ac.jp>)



CiNii Articles(日本の論文を探す)トップページ(<http://ci.nii.ac.jp/>)

「フリーワード」欄に調べている情報のキーワードを入力して、検索してみてください。タイトルや著者名でも検索可能です。いくつか論文がヒットしますので、気になる論文をクリックしてください。

CiNii PDF-オープンアクセス や **機関リポジトリ** といったボタンが表示されている場合は、本文を閲覧することが可能です。このようなボタンがない場合は、実際の収録刊行物入手する必要があります。検索結果をクリックし、「CiNii Books」というボタンをクリックすると、その論文が収録されている刊行物を所蔵している大学図書館を調べることができます。



この例では、愛知大学にもこの論文が掲載されている資料があることが分かります。愛知大学にない場合は、カウンターにご相談ください。

これまでは日本の学術論文の検索方法をご紹介しましたが、この他にも過去に発行された新聞記事や雑誌記事、判例などもデータベースを利用すればキーワード1つで関連記事を検索することができます。図書館ホームページにデータベースのリンク集が掲載されていますので、ぜひ活用してください。

③白書・統計資料を活用しましょう。

レポートでは、根拠となる資料やデータが必要になる場合があります。そんな時に役に立つのが「白書」や「各種統計資料」です。

〈白書〉

政府各省庁が所管の行政活動の現状、問題、対策そして将来の展望などを国民に知らせるために発行する刊行物です。(注)
(注)日本大百科全書(ニッポニカ), JapanKnowledge, <http://japanknowledge.com>. (参照 2015-10-09)

例えば、厚生労働省編集「厚生労働白書」には、我が国における健康をめぐめる施策の変遷、現下の政策課題への対応などが掲載されています。中小企業庁「中小企業白書」には、中小企業・小規模事業者の動向、取り巻く環境、産業別規模別事業所・企業数などの統計資料が掲載されています。

一部の白書は図書館に所蔵されていますので、ぜひ手にとって調べてみてください。

図書館にない場合は、官公庁のホームページにも掲載されています。

〈統計資料〉

官公庁が発表する統計資料を網羅的に検索できるホームページが公開されています。それが「e-Stat」(政府統計の総合窓口)です。



e-Stat(URL:<http://www.e-stat.go.jp>)

e-Statでは各府省等が発表した統計データが掲載されており、キーワード検索も可能です。各府省等のデータを見た場合は、まずe-Statを検索してみてください。管轄省庁が分かっている場合は、その省庁のホームページにも様々な統計資料が掲載されていますので、合わせて確認してみてください。

以上、卒論・レポートに臨む上で役に立つ資料の探し方をご紹介しましたが、具体例として「観光」をテーマにレポートを書くことを想定して、これまでの内容を復習してみます。

- ①「観光」をテーマにレポートを書かなくてはならないのだけど、どうやって書いたらいいだろう。テーマはどうやって決めればいいだろうか。→OPACに「レポート 書き方」と入力して検索し、レポートの書き方に関する資料を調べてみてください。
- ②テーマは決まったが、このことを研究している研究者はあるのだろうか。そういった研究者は、どんな意見を持っているのだろうか。→「CiNii Articles」を使って、テーマに関連した論文を調べてみます。本文が掲載されていない場合は、その入手方法をカウンターに相談してください。
- ③外国人旅行者の出入国者数および日本人海外旅行者数を調べたい。→観光庁のホームページもしくは「観光白書」に訪日外国人旅行者数の推移が掲載されています。



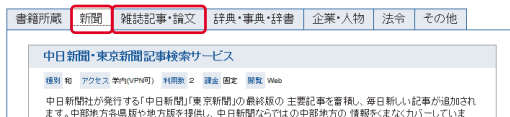
観光庁ホームページ「統計情報・白書」
(http://www.mlit.go.jp/kankochou/siryoutoukei/in_out.html)

- ④最近、テーマに関連した出来事は何かあったのだろうか。世論はどうなのだろうか。→新聞や雑誌データベースを使って、記事を調べてみます。

データベース

データベース利用にあたっての注意事項

- ・ データベース・CD-ROM等は本学学生及び教職員の方のみご利用いただけます。
- ・ 図書館が契約しているデータベースの中には、同時アクセス数による制限を行っている場合があります。同じデータベースを利用している人が他にあり、アクセス数が既定値に達している場合アクセスできません。その場合は、時間を置いてから再度アクセスしてください。



図書館ホームページ データベースリンク集
(<http://library.aichi-u.ac.jp/db.php>)

- ⑤観光に関して、我が国では、どういった政策がとられているのだろうか。→「観光白書」や関係省庁のホームページを確認し、関連する政策を調べることができます。

今回は、卒論やレポート作成で、どのように図書館を活用できるのかをご紹介しました。調べ方に困ったら、まずは気軽に図書館カウンターに相談してみてください。図書館は、皆さんの卒論・レポート作成をサポートします。